

県立学校の保護者や地域の皆様へ

福岡県教育委員会



教職員が心身のゆとりを持ち、「子どもと向き合う時間」を確保できるよう『教職員の働き方改革』に御理解・御協力をお願いします。

「教職員の働き方改革」を実現することが、教職員が自らの意欲と能力を最大限発揮し、健康でやりがいを持って働くこと、また、「教職員が子どもと向き合う時間」を十分に確保することにつながります。

教職員の超過勤務が深刻化しています！

平成29年6月から12月に県立学校8校で実施した調査結果によると、約4人に1人の先生が、月80時間以上の超過勤務を行っています。 このままでは、教職員が子どもと向き合う時間を十分に確保できない状況になりかねません。



県では、教育の質の確保、業務の効率化を図りつつ、**次の取組を全県立学校で推進します。**

保護者の皆様におかれましては、御理解・御協力をお願いします。

『定時退校日』

- ・毎週1回の定時退校日を実施します。

『学校閉庁時刻』

- ・学校閉庁時刻（例：20時）を設けます。
（時刻は学校により異なります。）

『学校閉庁日』

- ・夏季及び冬季休業期間中に、3日以上为学校閉庁日を設定します。

『部活動休養日』

- ・原則として、週当たり2日以上部活動休養日などを設けます。

※ 上記取組の詳細については各学校が定めます。（裏面）

福岡県立修猷館高等学校の取組について

福岡県立修猷館高等学校長
福岡県立修猷館高等学校PTA会長



『定時退校日』

- 1 月に2回程度と定期考査1週間前から定期考査終了日前日まで実施します。(平均月5回)

『学校閉庁時刻』

- 1 やむを得ず時間外に業務を行う場合でも、生徒下校時間の1時間後を目安に業務を終え、学校を閉庁します(20:30)。
- 2 年間を通して毎日設定します。

『学校閉庁日』

- 1 年間3日(平日)を目安に設定します。
- 2 本年度の設定日は、8月10日(木)・14日(月)・15日(火)の3日間です。
- 3 設定日には、学校施設の開放を行いません。また、生徒を登校させず、校内での部活動も原則実施されません。

『部活動休養日』

原則として、週当たり2日以上(年平均)部活動休養日(完全休養日、休養日)を設けます。

- 1 部活動休養日は、年末・年始、定期考査前後の一定期間、オフシーズンに設定して、年間を通じて週当たり2日以上になるよう調整します。
- 2 生徒、教職員が十分な休養をとることができるとともに、生徒が部活動以外にも多様な活動を行うことができるよう、ある程度長期の休養期間(オフシーズン)を設けます。



本県挙げての取組ですので、御理解・御協力をお願いいたします。